

## 第 70 回理事会議事録

1. 日 時：2021 年 3 月 26 日（金）18 時 30 分～19 時 40 分
2. 議決方法：オンライン会議システム Zoom を使用した
3. 議事参加者：【理事 11 名】 鳩山勝郎、浅越ことみ、伊藤直彦、久保公人、齋藤陽子、寺本直志、橋本公二、古川京司、柳澤彰子、山田和彦、吉田正  
【監事 2 名】 関口修、正村祐一  
【事務局 3 名】 高野英樹事務局長、大政哲人国際交流事業部長、仲村篤志競技会事業部長  
(理事現在数：12 名、定足数 7 名、本人出席 11 名)

4. 議事の経過及び結果  
鳩山会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 69 回理事会議事録の承認について  
議事録案を承認した。

第 2 号議案 会員の逝去について  
以下の会員の 2 名が逝去した旨報告があった。  
浜田知明（36322）  
河合卓雄（19190）

第 3 号議案 2021 年度予算および 2021 年度事業計画書の件  
鳩山会長代行より 2021 年度予算が提案され以下の説明があった。  
2021 年度予算は 1 月理事会での 574 万円の赤字予算から変更はない。2021 年 9 月にイタリアで予定されている世界選手権については、WBF から方針の発表がまだないため、予定通り行われる想定の見積もりとしている。  
その結果、経常収益 160,300,000 円、経常費用 166,040,000 円、総額 5,740,000 円の赤字予算となる 2021 年度予算が提出された。全理事の検討、確認の結果、3 月 26 日にこれを承認した。  
鳩山会長代行より 2021 年度事業計画書が提出された。検討の結果、3 月 26 日にこれを承認した。  
鳩山会長代行より 2021 年度の資金調達および設備投資について計上を行わない旨提案があった。検討の結果、3 月 26 日にこれを承認した。  
なお監事は、2021 年度予算、2021 年度事業計画書、2021 年度の資金調達および設備投資について異議を述べなかった、

## 第4号議案 各委員会及び事業部報告

### 1. 人事委員会

齋藤人事委員長より職員の3月賞与、2020年度の評価、および2021年度の給与について報告があり、了承された。

### 2. 企画委員会

吉田企画委員長より2月10日および3月10日の企画委員会について以下の報告があった。

新型コロナウイルス感染症関連では、緊急事態宣言の期間中は夜のウィークリー、講習会、およびIMPの中止を各センターに要請した。

競技会に参加したあと後日に陽性が判明したプレイヤーは昨年12月を最後に発生していない。センター、クラブ内部で感染したケースはまだ報告されたことはない。

新型コロナウイルス感染症の発生後、約1年間にわたってブリッジを控えている層が会員、会友約7千人のうち2千数百人いるが、2021年度の会員更新の途中経過の手ごたえはそこまで悪くなく、それなりの更新率を確保できる見通しである。

渡辺杯は日程が緊急事態宣言の延長期間に含まれたが、スポンサーに関係ない競技会であること、ペア戦でキャンセルが比較的容易であること、リジョナルであり全国的ではないことから、予定通り開催した。

### 3. センター協議委員会

浅越センター協議委員長より3月9日のセンター協議委員会について以下の報告があった。

各センターの感染対策はプレイヤーにも浸透し安定している。昼休みにハンドコピーをすぐ配らないなど、マスクを外した会話が発生しないような工夫をしているセンターが増えている。

センターの集客状況は依然として厳しく、セクショナルは以前の50%程度、ウィークリーのほうは50%にも満たない状況である。センターの経営状況も容易でない状態が続いている。

### 4. 代表選抜委員会

橋本代表選抜委員長より本日代表選抜委員会を開催し2022年度の国際大会について検討した旨報告があった。

### 5. 競技委員会

寺本競技委員長より3月3日開催の競技委員会について以下の報告があった。

ナショナルディレクター2次試験を3名が受験し、貴戸祥郎、石橋瑞己の2名が合格した。

### 6. 普及事業部

齋藤普及事業担当理事より 2020 年後期の大学授業は東京大学、および大阪大学で実施された旨報告があった。

7. 競技会事業部

山田競技会事業担当理事より 競技会事業部活動状況および資格獲得者の報告があった。

8. 国際交流事業部

吉田国際交流事業担当理事より 2021 年 APBF 選手権はオンラインで実施することが確定し、時期は 7 月中旬が濃厚である旨報告された。一部の国のチームが参加しオンラインの APBF 選手権の試行競技会を 5 月頃に行うことが発案されているが詳細はこれからである。

9. 法人・管理部

鳩山会長代行より 公認料の一部返還によるセンター支援の実施に関して、以下の提案があった。

各センターは 12 月以降の感染拡大、および 1 月の緊急事態宣言の発出の影響を受け、財政的に厳しい状況にある。JCBL は今年度の赤字決算が現実ではあるが、それでもなおできる限りのセンター支援を行い、センターの経営の安定化に寄与したい。センター支援の規模は 14 センター合計で 400 万円とし、各センターの内訳は 2020 年度の公認料の合計に比例させた金額としたい。昨年 4 月にセンター支援を約 750 万円行っているため、今回 400 万円の支援をもし行えば今年度のセンター支援の合計は約 1,150 万円となる。

検討の結果、これを承認した。

寺本法人・管理部担当理事より 2 月末時点の予算決算対照表、比較財務諸表、月次収支実績、およびクラブ勘定の残高について以下の報告があった。月次収支は 1 月が約 690 万円の赤字、2 月が約 130 万円の赤字であった。

1 月は朝日新聞社杯の延期、公認料収入の減少が響き、厳しい結果となった。2 月は経費に横浜ブリッジフェスティバル、スイスチーム、オープンペアのキャンセル料、および消費税が含まれているため、緊急事態宣言下としてはあまり悪くない結果と考えられる。2 月末時点での損益累計はほぼゼロとなり、決算見込みは 400 万円のセンター支援を含めて 1,000 万円程度の赤字を想定している。クラブ勘定については問題がない。

寺本法人・管理部担当理事より ガバナンスコードの自己説明の公表内容および役員選抜規則の改正案が提案された。検討の結果、これを承認した。ガバナンスコードの自己説明は 3 月中に公表することとした。

第 5 号議案 その他の議案

1. 次回理事会開催について

次回理事会は 2021 年 4 月 23 日（金）18 時 30 分よりオンラインにより  
開催する

当日配布資料：第 4 号議案「APBF 議事録」  
「役員候補選出規則」  
「ガバナンスコードの自己説明」

2021 年 3 月 26 日

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 70 回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 関口 修

監 事 正村 祐一

議事録作成者 寺本直志